

2022 ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会の結果報告について

12回目の開催となる「2022 ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会」(主催：世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会)を令和4年5月14日(土)、15日(日)の両日に開催しましたので結果を報告します。

1 競技結果

(1) 5月14日(土) エリート(トップアスリート)大会

競技種目	出走者数	完走者数	完走率
エリート	92 (116) [男 50/女 42]	78 (97) [男 45/女 33]	84.8% (83.6%)
エリート パラトライアスロン	42 (67) [男 32/女 10]	42 (65) [男 32/女 10]	100% (97.0%)
参加国	31の国及び地域		

() 内は 2021 大会

主な成績

(エリート)

【女子】 レース結果	順位	氏名	国及び地域	タイム
	1位	ジョージ テイラー ブラウン	イギリス	1:51:44
2位	レオニー ペリオー	フランス	1:51:50	
3位	フローラ ダフィ	バミューダ	1:51:55	
(日本人)				
20位	高橋 侑子	日本	1:57:35	
22位	中山 彩理香	日本	1:58:13	
【男子】 レース結果	順位	氏名	国及び地域	タイム
	1位	アレックス イー	イギリス	1:43:30
2位	ヘイデン ワイルド	ニュージーランド	1:43:40	
3位	レオ ベルジュール	フランス	1:43:59	
(日本人)				
9位	小田倉 真	日本	1:45:02	
17位	北條 巧	日本	1:45:22	

(パラトライアスロン)

○切断や麻痺など肢体不自由の立位の選手が出場するクラス (PTS4)

PTS4 【男子】 レース結果	順位	氏名	国及び地域	タイム
	1位	アレクシ アンカンカン	フランス	0:59:02
2位	ピエール アントワヌ パール	フランス	1:00:49	
3位	宇田 秀生	日本	1:01:05	

○ハンドサイクルや競技用車いすを使用する選手が出場するクラス (PTWC)

PTWC 【男子】 レース結果	順位	氏名	国及び地域	タイム
	1位	ニック ビバリッチ	オーストラリア	1:04:05
2位	木村 潤平	日本	1:04:07	

(2) 5月15日(日)エイジ(一般)大会

競技種目	出走者数		完走者数		完走率
エイジパラ トライアスロン	23 (14)		17 (14)		73.9% (100%)
	男	女	男	女	
	19 (11)	4 (3)	13 (11)	4 (3)	
エイジ スタンダード	1,100 (797)		956 (761)		86.9% (95.5%)
	男	女	男	女	
	956 (716)	144 (81)	826 (684)	130 (77)	
エイジ スプリント	249 (172)		219 (162)		88.0% (94.2%)
	男	女	男	女	
	197 (140)	52 (32)	172 (131)	47 (31)	
エイジリレー	72[24組] (60[20組])		63[21組] (57[19組])		87.5% (95.0%)
合計	1,444 (1,043)		1,255 (994)		86.9% (95.3%)

※ 最年少出場者 16歳、最高齢 84歳

() 内は 2021大会

2 コース

山下公園をメイン会場に、赤レンガ倉庫、みなとみらい21地区など横浜の観光名所を周回するコースです。(エリート、エイジスタンダードのコースは4ページ目参照)

5月14日(土)のエリート大会は、事前予報から天候悪化の恐れがあったため、コースの一部を変更し安全な競技運営に努めました。

【参考】各種目の距離

- ・スタンダードディスタンス (スイム 1.5km、バイク 40km、ラン 10km、全体 51.5km)
エリート、エイジスタンダード、エイジリレー
- ・スプリントディスタンス (スイム 0.75km、バイク 20km、ラン 5km、全体 25.75 km)
エリートパラ、エイジパラ、エイジスプリント

3 ボランティア

延べ約 1,000人

4 映像発信

(1) 5月14日(土)エリート大会

ア NHK BS1 10:00~15:15 エリート女子・男子競技を生中継

イ Triathlon LIVE 6:45~全競技大会終了

(2) 5月15日(日)エイジ大会

大会WEBサイトでのオンライン配信 6:50~競技終了

5 主な安全対策

(1) 海外からの選手等の受入対策

スポーツ庁や外務省等と調整し策定した「海外入国者受入計画」に基づき海外選手等を受け入れました。

海外選手等は、出国前（72時間以内）に感染症陰性証明を取得してから来日し、政府の水際対策強化措置指定国からの選手又は有効なワクチン証明書のない選手は、入国後3日間ホテルにおいて待機・行動制限をし、毎日PCR検査を行いました。

また、大会独自の対策として、待機が不要な選手についても、万全を期すため、入国3日目にPCR検査を行いました。

(2) エイジ（一般）参加者や関係者、応援者への対策

会場におけるマスク着用、検温、消毒及び三密の回避等、基本的な安全対策を徹底し、一般参加者・大会関係者に対しては、大会2週間前からの体調チェック・行動管理を実施しました。

また、応援者に対しては、会場・沿道で応援する場合、「声を出して応援しない」「ハイタッチをしない」ことや「密集しない」ことなどを、事前広報や現場スタッフにより周知・徹底しました。

6 ウクライナ選手団への支援

ウクライナの競技団体からの要請に基づき、エリートパラに出場するウクライナ選手団5名に対し、大会組織委員会として、選手とコーチの渡航費や大会期間中の滞在費を支援しました。

競技終了後はウクライナ選手団の意向で、大会組織委員会会長である山中市長に御礼の訪問をし、応援に来ていた市内在住7名のウクライナ避難民との交流が行われました。

<コース図> 5/14 (土) エリートコース (変更後)



<コース図> 5/15 (日) エイジスタンダードコース



5/14 (土) エリートパラ男子 日本人選手の結果



宇田 秀生 選手 (PTS 4 3位)



右:木村 潤平 選手 (PTWC 2位)

5/14 (土) エリート男女



(男子) 県庁前 ランコース



(女子) 赤レンガ倉庫前 バイクコース

5/14 (土) ウクライナ選手団との交流 /

5/15 (日) エイジ (一般参加)



ウクライナ選手団と避難民との交流 /



横浜の観光名所を疾走するランコース

- ◎ Shugo TAKEMI/2022 Yokohama Triathlon
- ◎ Satoshi TAKASAKI/Japan Triathlon Media
- ◎ Shinji KAWATA/Japan Triathlon Media